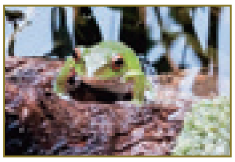
広島県立祇園北高等学校

理数コース

本校飼育池で，モリアオガエルが生息できる環境を目指して

祇園北高校内に生息する生物同定を行い、図鑑を作成する研究を行っている。令和３年７月までに、合計193種の同定を行うことができた。令和３年３月より安佐北区「吉水園」では天然記念物に指定されているモリアオガエルの生息が確認でき、合計９個の卵塊を確認することができた。シュレーゲルアオガエルやアマガエルもの飼育池で観測することができた。

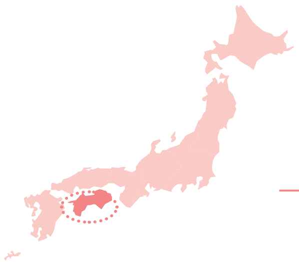


広島県立祇園北高等学校

科学研究部

太田川におけるプラスチックごみの輸送過程の研究2021

太田川の水質調査を行っている。MP（5mm以下のプラスチック）の源となる水面のプラスチックごみの輸送過程を調べるためGPSを放流したところ、中流の安佐大橋から下流の段原までの約15kmは約19時間で輸送されたが、段原から広島湾までの約4kmは約150時間を要した。研究から、GPSが滞在したり漂着した場所での清掃活動は効率が良いと考え、清掃活動を実施している。



四　国

6 団 体

香川県立三本松高等学校

三高みんなの食堂プロジェクト

三高みんなの食堂プロジェクト

この食堂プロジェクトは全校生が参加者で、地元の農業法人と一緒に環境にやさしい新たな形の学食をつくっていく活動です。地域産業の廃棄物の革の端材を暖簾や内装に活用、使っていない漆のお盆や器を食堂で使用、規格外野菜や未活用部位をおいしく食べるためのメニュー開発など、「食」という毎日の活動を通して全校生がよりよい環境に繋がるアクションをしています。

徳島県立阿南光高等学校

緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクトチーム

刈草をツールに私たちが取り組むSDGs

河川や道路・公園等の維持管理で発生する「刈草」から資源循環型肥料「もったいない2号」を開発し環境問題の解決に向けた啓発や実践活動を展開しています。新たに「私たちはコロナに負けない！もう少し、みんなでがんばろう」プロジェクトを立ち上げ、「ミニヒマワリ栽培セット」を考案し子どもたちが自宅で少しでも楽しい時間が過ごせるよう2600セットを配りました。

徳島県立徳島商業高等学校

校内模擬会社ComCom

町に笑顔のいろどりを～上勝から繋がる交流の場～

地元の特産品を使った新しいお土産づくりに加え、梱包をした箱や包装紙を廃止し、使用後はランチョンマットや小物入れとしても使えるエシカル消費を意識した商品を開発。お土産は、特産品である阿波ういろと上勝町の幻の柑橘「ゆこう」を組合せた。木箱は上勝町の間伐材を使用、風呂敷はペットボトルを再生した繊維で作った。今後は、道の駅など販売地域を広げる。

愛媛大学附属高等学校

理科部プラガールズ

海洋性細菌を利用した海洋マイクロプラスチック汚染解消への挑戦

県内の海浜に漂着しているマイクロプラスチックの調査を行い、生分解性プラスチック化が望ましい製品について検討し、製造企業に生分解性製品化の可能性について提案しました。天日塩中から海洋性細菌を単離培養して生分解性プラスチックを合成させて海洋で分解されることを確認しました。さらに、経済的な生分解性プラスチックの生産技術の開発に取り組みました。

愛媛県立長浜高等学校

水族館部 チーム・ニモ

JellysGuard Sunscreen UV機能付きクラゲ予防クリームの開発

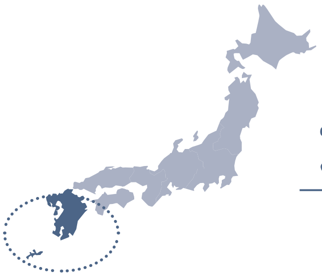
水族館部は、地域の環境教育に貢献するとともに様々な研究に取り組んできました。クマノミがマグネシウムを身にまとうことでイソギンチャクに刺されないことを発見しました。これをクラゲに応用し、クラゲに刺されにくく日焼け止め効果のあるクリームを開発しました。天然由来のミネラルで紫外線を防ぐ紫外線散乱剤を使用しており、海洋環境にも優しい商品です。

高知県立伊野商業高等学校

商業技術部・和紙研究会

土佐和紙を世界に！

ユネスコ無形文化遺産として登録された「和紙・日本の手すき和紙技術」。その中に学校の所在地、いの町の特産品である「土佐和紙」は含まれていませんでした。私たちは土佐和紙の魅力を知るために製作の現場を訪問したり、自分たち自身で和紙を漉いたり、いろんな方たちとつながっています。和紙を使った子ども向けワークショップの講師を務める活動を毎年行っています。



九州・沖縄

10 団 体